



arts in hearts
TOYOTA

第 1637 回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

札幌 フィルハーモニー 管弦楽団

Sapporo Philharmonic Orchestra

第58回
定期演奏会

ベートーヴェン
劇音楽「エグモント」序曲

エルガー
チェロ協奏曲

ラフマニノフ
交響曲第2番

指揮
松元 宏康

チェロ
金木 博幸

東京フィルハーモニー
交響楽団
首席チェロ奏者

2018.5.19 [土] 開場 18:00 / 開演 18:30

わくわくホリデーホール (札幌市民ホール)

札幌市中央区北1条西1丁目 ※地下鉄大通駅よりすぐ (31番出口正面) TEL:011-252-3700

前売・当日

1,000円(全席自由)

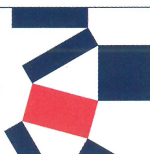
販売先

ローソンチケット(Lコード11632)、大丸プレイガイド、教文プレイガイド
札幌フィルホームページ <http://sapporo-phil.net/>

主催／札幌フィルハーモニー管弦楽団 共催／札幌地区トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社 協力／公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟
後援／札幌市、札幌市教育委員会、朝日新聞北海道支社、北海道新聞社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社(順不同)
問い合わせ先／札幌フィルハーモニー管弦楽団事務局 伊東(080-3237-2595)

トヨタコミュニティコンサートは東京2020公認プログラムです。
トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、1981年から、地域にねぎした
アマチュアオーケストラ活動を応援しています。 [公式サイト www.toyota.co.jp/tcc/](http://www.toyota.co.jp/tcc/)

公認プログラム



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary



エルガー&ラフマニノフ とろけるような濃厚な一夜を・・・。

東京フィルハーモニー首席チェロ奏者、金木博幸氏をソリストにお迎えしてお届けする、心の奥底まで揺さぶられる感情豊かで美しい、エルガーのチェロ協奏曲。ラフマニノフのロマンティズムがこれでもかとあふれ出る交響曲第2番。今宵はめろめろにとろける濃密なプログラムに、どっと浸りきってください。



【指 揮】 松元 宏康

Hirofumi Matsumoto

東京都生まれ。幼少よりピアノ、エレクトーンを学び、洗足学園音楽大学ならびに同大学附属指揮研究所マスターコースを経て、2006年仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者に就任し、プロ指揮者としてのキャリアをスタートさせた。2009年沖縄で新設された琉球フィルハーモニックオーケストラの初代専任指揮者に就任、2012年正指揮者に就任する。これまで、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、千葉交響楽団(旧ニューフィル千葉)、広島交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラなどへ定期的に客演しつつ、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」、日本オーケストラ連盟主催「オーケストラの日」、沖縄県主催「県民クラシックコンサート」、などのプロジェクトに携わり、年間のコンサート出演は70公演以上を数える。指揮法を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコアリーディングを島田玲子氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事する。現在、琉球フィルハーモニックオーケストラ正指揮者、ブリッツフィルハーモニックウインズ音楽監督、洗足学園音楽大学講師。(東京都在住)



【チェロ独奏】金木 博幸(東京フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者)

Hiroyuki Kanaki

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。齋藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボー・ヴァルガ氏との二重協奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウィーン・フィル首席チェリスト・エマヌエル・ブラベッツ教授のもとで3年間研鑽を積む。室内楽をバリリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリスト・アントニオ・ポカテラ教授にも師事。シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティ・フィル、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレーヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。

【演 奏】 札幌フィルハーモニー管弦楽団

昭和46年(1971年)1月に創立された札幌で最も歴史のあるアマチュア市民オーケストラ。第1回定期演奏会は、昭和47年5月27日、旧札幌市民会館にて開催された。定期演奏会では、交響曲を中心に、協奏曲にもとりくみ、多くの著名な演奏家と共演しており、近年は海外の音楽家とも共演している。

また、親しみやすい名曲を集めた「ファミリーコンサート」や市内小学校での「音楽教室」なども開催している。平成13年(2001年)11月以降、3度にわたり札幌市の姉妹都市である、米国ポートランド市を親善訪問し、地元の市民オーケストラと親善合同演奏会を開催、成功を収めている。

また、札幌以外では、新十津川町、北広島市、清水町、浦河町、長沼町、岩内町など道内各地で演奏会を開催、地元の皆様に生(なま)のオーケストラ演奏をお届けしている。こうしたさまざまな活動が札幌市の文化振興に貢献してきたとして、平成17年秋には、「平成17年度札幌文化奨励賞」を受賞した。

現在、団員は70名。10代の学生から70歳をこえるプレイヤーまで、札幌団員をはじめとする諸先生方のご指導もいただきながら、ともに音楽を楽しみたいという気持ちでひとつになり毎週土曜日夜に練習をおこなっている。

点字プログラムのご案内



札幌フィルでは、目の不自由な方にも演奏会を楽しんでいただくため、点字プログラムをご用意しております。チケットをご購入の上、事前にお申し込みいただければご用意いたします。詳しくはホームページにてご確認ください。

札幌フィルホームページ

<http://sapporo-phil.net/>

札幌フィル

検索

楽団紹介・演奏会情報・チケット購入
※フェイスブック始めました。